

**九州がんセンター～**  
**長崎医療センター** での  
**地域緩和ケア連絡調整員の取り組み**

**長崎医療センター**  
**医療相談支援センター係長**  
**がん看護専門看護師 田中 圭**

# 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター



高い水準の知識と技術を培い  
患者さんひとり一人の人格を尊重し  
高度医療の提供を目指します



長崎医療センター  
マスコット  
ヘリドック太くん

病床：643床(一般610床、精神33床)

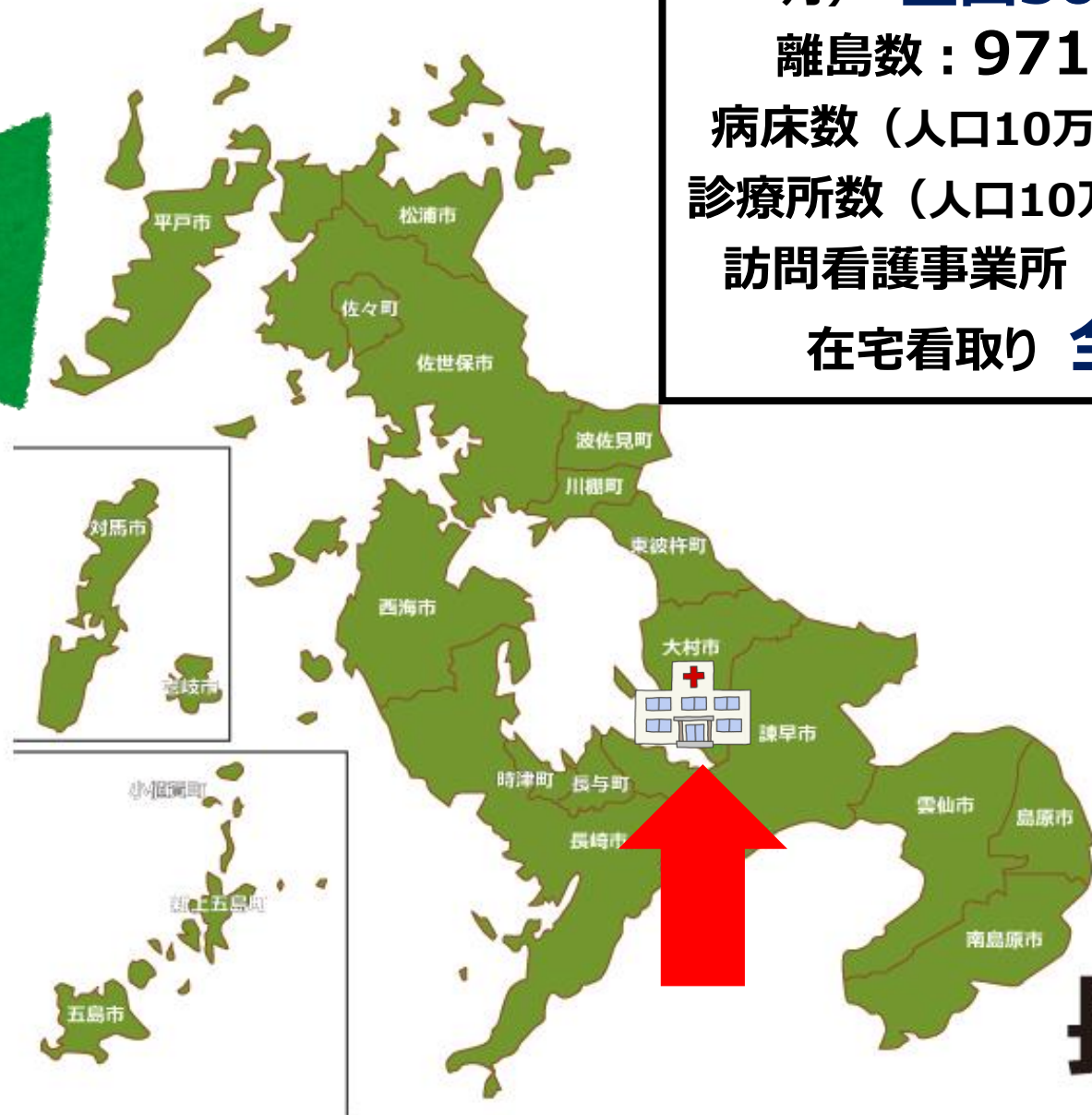
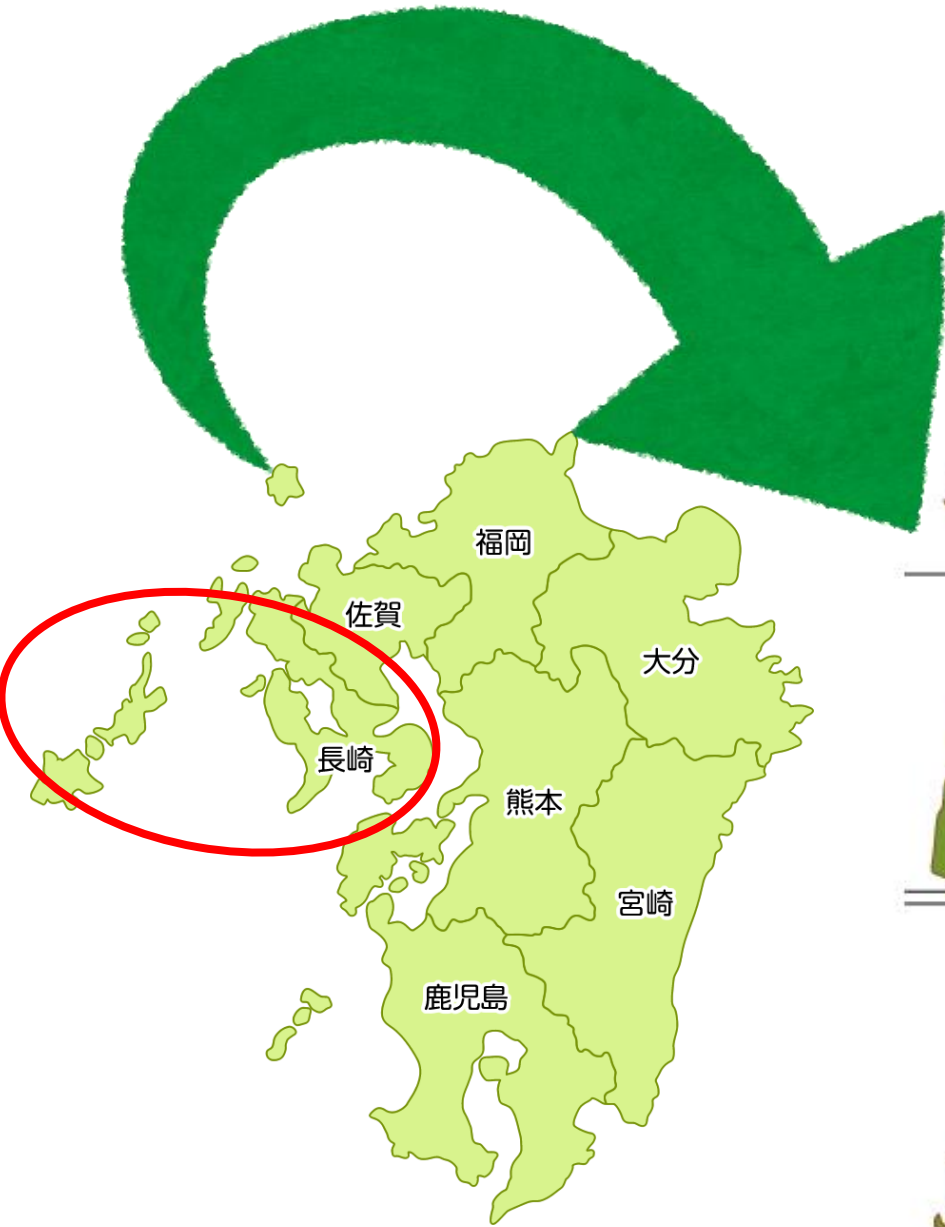
外来患者数：一般：約750名/1日

救急：約13,000名/年間 内ヘリコプター搬送：約900名

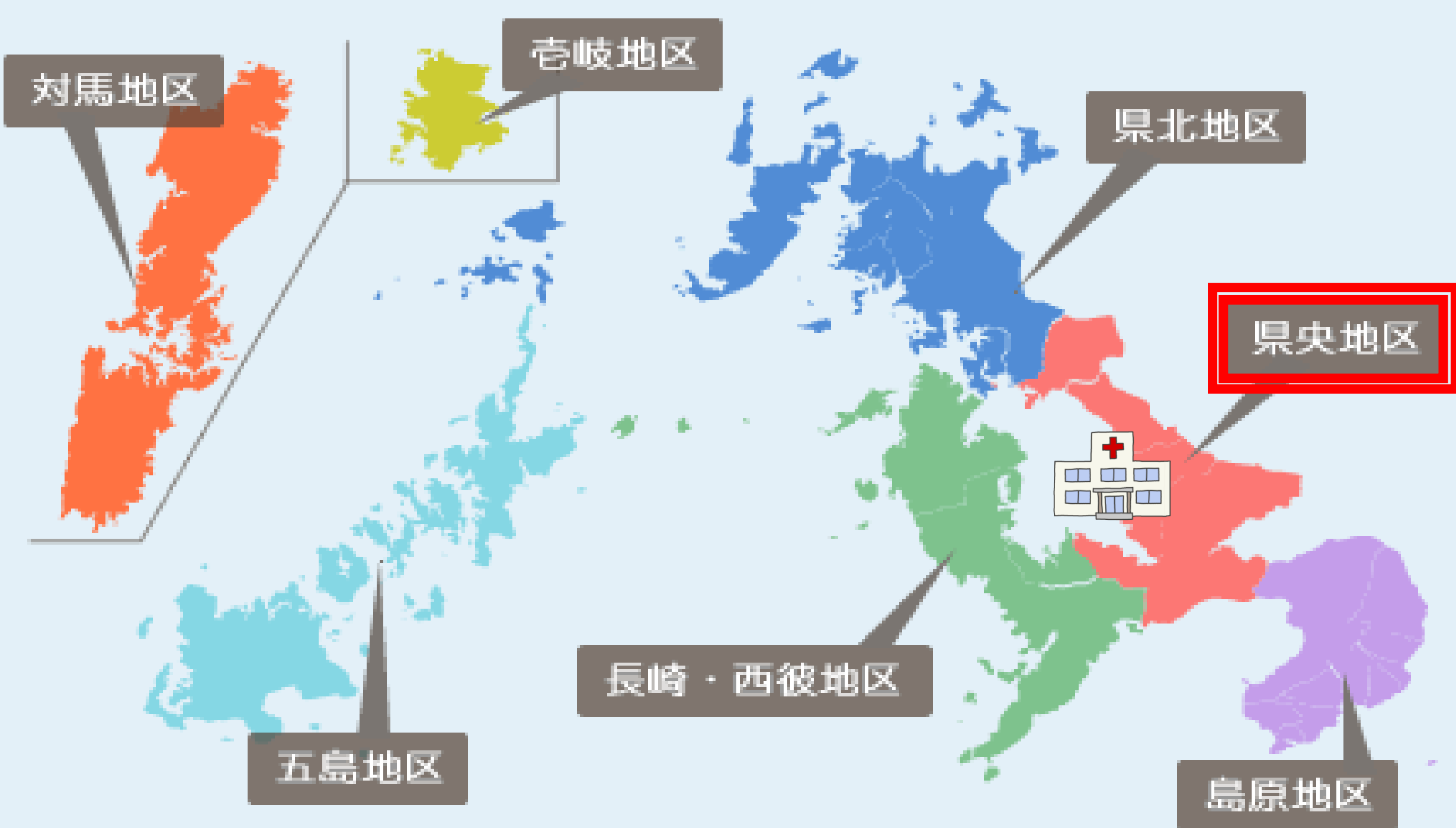
職員数：約1,200名(医師200名、看護師650名、その他350名)

機能：高度総合医療施設、救命救急センター、災害拠点病院、へき地中核  
病院、総合周産期母子医療センター、**地域がん診療連携拠点病院** など

人口：133万6,023人（2021年8月） **全国30位** 減少傾向  
離島数：971島 **日本1位**  
病床数（人口10万あたり） **全国5位**  
診療所数（人口10万あたり） **全国3位**  
訪問看護事業所 **全国平均以上**  
在宅看取り **全国40位**



**長崎県**



対馬地区

壱岐地区

県北地区

県央地区

長崎・西彼地区

五島地区

島原地区

# 県央地域の現状・課題

- 2025年までに県内で**最も高齢者率が増加する**
- **急性期医療機関**が充実している
- 急性期医療へ隣接する**他医療圏からも患者が流入している**
- 急性期病床は多いが、**回復期病床が少ない**
- 独居や高齢者のみ世帯が増加し**退院困難者が多い**
- 県内で最も**在宅医療の医療需要が伸びる**

# 地域緩和ケア連絡調整員の取り組み

## 長崎医療センター

1. 2チャンネル会議の運営
2. 具体的な取り組み：地域緩和ケアパス・遺族調査など

## 九州がんセンター

3. 地域との症例検討カンファレンスの企画・運営・効果



# 【現場レベルの会議】 = 顔の見える関係づくり



現場・地域のニーズ

## 2 チャンネル会議

地域緩和ケア連絡協議会  
地域支援病院連絡委員会  
etc

幹部と価値を共有  
行政との連動

地域医療連携室協議会  
在宅医療推進委員会  
ACP検討委員会  
CM意見交換会 etc

地域を変えていく仕組み



# 【責任者レベルの会議】 = 体制づくり

# 2. 具体的な取り組み：地域緩和ケア連絡協議会

委員一覧：計27名

当協議会の事務局  
長崎医療センター  
医療相談支援センター

取り組み

1. 地域緩和ケアパス
2. 遺族調査（長崎県大村市）

施設	役職
A病院	副院長・緩和ケア部長・精神科医・緩和ケアチーム員・医療相談支援センター係長
B病院	院長・看護部長
C病院	院長・看護師長
D医師会	会長・副会長・理事2名・委員・看護師・社会福祉士
E歯科医師会	理事
F薬剤師会	理事
G介護支援専門員協議会	会長・副会長・役員
H訪問看護ステーション協議会	会長
I栄養士会	支部長
J社会福祉協議会	事務局次長・主査
K市役所	課長・地域包括支援センター長・地域包括支援センター係長



# 大村市のACPのイメージ



## 広義のACP

対象：健常者

ACPの啓発・考えるきっかけ・コミュニケーションのきっかけ

媒体：大村市版 人生ノート

## 狭義のACP

対象：人生最終段階を  
考える段階

DNAR・代理意思決定者・  
療養の場・症状緩和など



媒体：がん治療サポートパス

# 大村市遺族調査

## 目的

1. 遺族から見た患者が受けた緩和ケアの質の評価を明らかにする
2. 大村市における地域緩和ケアの課題を明らかにする
3. 個々の研究参加施設に緩和ケアの質の評価の結果をフィードバックすることにより各施設の質の保証に寄与できる

**期間：2023年4月1日～2025年3月31日（2年間）**

## 対象：

- 1)大村市当該施設でがんのために死亡した患者の遺族（死亡から3カ月以上経過）
- 2)死亡時の患者の年齢が20歳以上
- 3)遺族の年齢が20歳以上

## カンファレンスの企画・運営

### 3. 地域の医療・福祉関係者との 症例カンファレンスの企画・運営

□カンファレンス実施回数：計13回

(期間：2016年6月～2018年12月)

□カンファレンス参加者：計967名

(院外：437名 院内：530名)

□カンファレンス平均参加者：73名



#### 1. 症例カンファレンスで検討する事例の抽出

開催日2ヵ月前に緩和ケアセンター・がん相談支援センターの担当で事例を抽出する。

##### 抽出する事例：地域で関わった事例

治療方針、療養場所の意思決定支援に困難を感じた事例  
在宅や緩和ケア病院など療養場所の退院調整に困難を感じた事例  
昨今のがん医療、がん看護のトピックスとなる事例 など

#### 2. 症例カンファレンスの院内企画立案

事例抽出後、テーマを決め、当該診療部長、主治医、当該病棟師長、担当看護師、がん相談支援センター担当者などで検討する。

#### 3. 他施設との企画・調整

在宅療養に関わる在宅診療医、訪問看護ステーション、介護施設、包括支援センター、行政と企画・調整をする。

#### 4. カンファレンスの具体プログラムの検討

テーマにそって形式について検討する（全体討議、GW、ミニレクチャーの有無など）。

#### 5. 広報活動

がん診療連携拠点病院・地域の医療・福祉関係者に広報を行う。

#### 6. カンファレンスの日時・場所の工夫

地域の医療・福祉関係者が参加しやすいように予め開催する年間計画を明確にし、開催日は地域の在宅医療連携会議の後の時間に設定する。

#### 7. カンファレンスの実際

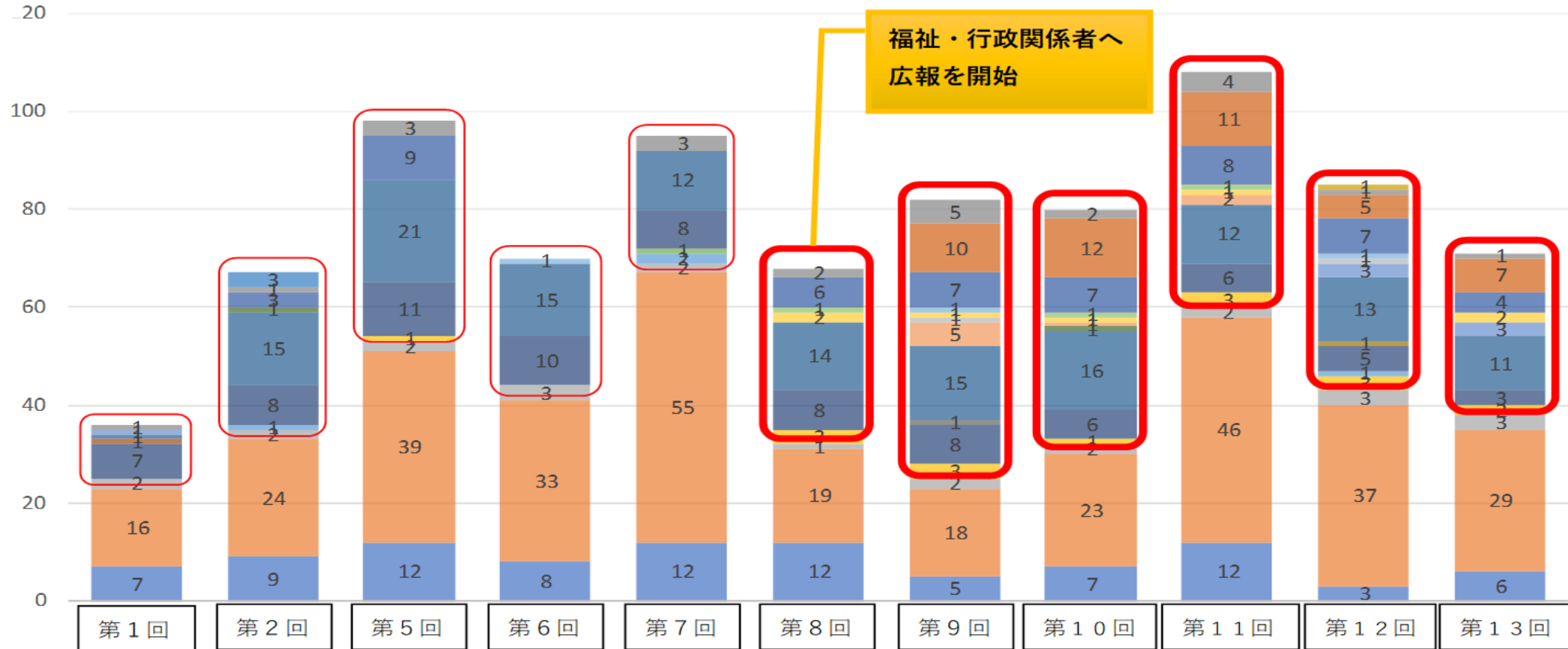
病院主治医⇨病棟看護師⇨在宅診療医⇨訪問看護師⇨ケアマネージャー  
⇨介護士⇨行政などの順番で20分程で事例紹介をし、その後、事例検討を行う。  
(ミニレクチャー等を実施する場合は最後の5～10分程で実施)



# 地域の医療・福祉関係者と共に行う症例検討カンファレンス

## 参加者一覧

赤枠は院外参加者



- 院内医師
- 院内看護師
- 院内MSW
- 院内心理士
- 院内薬剤師
- 院内リハビリ
- 在宅診療医師
- 緩和ケア病院 医師
- 老健施設 医師
- 他院医師
- 訪問看護師
- 緩和ケア病院 看護師
- 他院 看護師
- 介護施設 看護師
- 保健師
- 他院薬剤師
- 他院MSW
- 他院リハビリ
- ケアマネージャー
- 介護士・ヘルパー
- 事務
- 行政
- その他

# 症例検討カンファレンスの効果に関する考察：アンケート結果

カテゴリー	実際のご意見（自由記述欄抜粋）
本当の顔が見える連携（本音で言いたいことが言える関係性）のきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・いろいろな職種の本音を聞くことができたからよかった。（実際の連携や、研修などについて批判的なご意見も多く存在する）</li></ul>
違う立場の苦悩を共有することができる	<ul style="list-style-type: none"><li>・在宅にかかわる職種の参加が増えてくるとよいですね。病院でのご苦労されている様子がありました。</li><li>・在宅では難しいと思っていたケースでも自宅に帰れば在宅の皆さんの力をかりて力強く生きておられるのが感動しました。</li></ul>
事例を基に直接意見交換することでお互いの価値観の理解が深まる	<ul style="list-style-type: none"><li>・お互いに知らな過ぎだと思った。皆さんは在宅のことを知らないし、最新のがん治療についても知らないことが多かった。</li><li>・実際に普段話すことができない方々と話をすることができて、それぞれ大切にしていることが違うことがわかりました。</li><li>・直接話せるから良い。良いことも悪いことも話せるから気持ちがわかる。</li></ul>
地域間、他職種（医療・福祉）間の障壁を自覚する	<ul style="list-style-type: none"><li>・在宅の医師や病院の方々の意見交換となっているように思います。</li><li>・（病院へ）地域包括ケアの視点を学んでほしい。</li><li>・介護職は意見が言いにくいです。介護職、ヘルパーさんの意見が聞きたい。</li></ul>
医療・福祉を含めた地域のチームを考える機会となる	<ul style="list-style-type: none"><li>・ケアマネです。病院のスタッフも気軽に在宅に出かけ、いつでも繋がっている環境が持てたらいいと思います。『地域チームとは』を考えさせられました。</li></ul>

# がん拠点病院の 地域緩和ケア連絡調整員に求められるもの

地域の課題へ対応できる機動力と地域との連帯

## 主体性

地域へ**関心**をむける communication

地域の課題を地域と共に**共感（現場へ）**する

**2チャンネル会議**を**意図的**に継続する

地域（行政）と**連動**する

**あきらめないこと + 地域にたよること**

